

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3577200540		
法人名	特定非営利法人 ありがとさん		
事業所名	グループホーム だんけぐーと 1階		
所在地	岩国市周東町下久原407番地		
自己評価作成日	平成24年7月25日	評価結果市町受理日	平成25年1月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク		
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内		
訪問調査日	平成24年8月28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ゆっくり・一緒に・楽しくをモットーに利用者さん一人ひとりに合わせた支援を心がけています。認知症を疾患として正確に捉えた上で、その人にとって当たり前の生活が出来るようお手伝いさせていただいています。介護する人、される人の関係でなく一緒に生活する人としての気配り・目配り・心配り・思いやりを胸に穏やかな笑顔で関わっていきます。プリセプター方式を利用し、新人職員を指導し、年間テーマを決め院内研修の実施や外部研修にも積極的に参加し、人材育成にも力を入れています・

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者がゆっくり・一緒に・楽しく過ごせるように、センター方式を活用して、利用者の思いや希望を把握され、一人ひとりに合わせた支援に努めておられます。重度化や看取りについての指針を作成され、家族への説明や職員の研修を実施されており、看取りをすることへの職員の不安をなくし、家族や主治医、職員等で何度も話し合わせ、チームで支援に取り組まれています。ヒヤリハット報告書や事故報告書を分析され、検討しておられ、転倒や発熱、異食、意識障害など、個々の事例についてそれぞれの対応を職員がグループワークで話し合わせ、事故再発防止に向けた事業所独自のマニュアルを作成され、事故防止に努めておられます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
57	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
60	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員は、生き活きと働けている	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3577200540		
法人名	特定非営利活動法人 ありがとさん		
事業所名	グループホーム だんけぐーと 2階		
所在地	岩国市周東町下久原407番地		
自己評価作成日	平成24年7月	評価結果市町受理日	平成25年1月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク		
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内		
訪問調査日	平成24年8月28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

“ゆっくり、一緒に、楽しく”をモットーに、利用者さん1人1人に合わせた支援を心がけています。認知症を疾患として捉えた上で、その人にとって当たり前の生活が出来るように、お手伝いさせて頂いています。介護する人、される人の関係ではなく、一緒に生活している人として、目配り・気配り・心配り、そして思いやりを胸に、穏やかな笑顔で関わっていきます。様々なアイデアを出し合い、入居者さんに楽しんで頂けるようなイベントなどを考えています。また、絵を描いたり、花を生けたり、それぞれに得意な事や楽しみごとを見つけ、完成した作品を展示して皆さんに見て頂くなど、張り合いを持って生活して頂けるようお手伝いさせて頂いています。自宅への外出や、例えば奥さんに会いに出掛けるなど、出来るだけご希望に添えるように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者がゆっくり・一緒に・楽しく過ごせるように、センター方式を活用して、利用者の思いや希望を把握され、一人ひとりに合わせた支援に努めておられます。重度化や看取りについての指針を作成され、家族への説明や職員の研修を実施されており、看取りをすることへの職員の不安をなくし、家族や主治医、職員等で何度も話し合わせ、チームで支援に取り組まれています。ヒヤリハット報告書や事故報告書を分析され、検討しておられ、転倒や発熱、異食、意識障害など、個々の事例についてそれぞれの対応を職員がグループワークで話し合わせ、事故再発防止に向けた事業所独自のマニュアルを作成され、事故防止に努めておられます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
57	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
60	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員は、活き活きと働けている	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1 1階	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「私たちは今もっている力で地域住民の一員として暮らしていけるお手伝いをします。」と理念の一つに掲げています。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念をつくり、年度当初に事業所理念についての研修を実施し、理念に沿ったケアについて常に話し合い、実践につなげている。	
2階	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「私たちは、今持っている力で、地域住民の一員として暮らしていけるお手伝いをします。」と掲げており、施設内研修などで理念を再確認し、共有している。		
2 1階	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者さんとスタッフで作成したお守りをグループホームとして交通安全週間に警察署に贈呈しています。	事業所の地域交流会に参加する地域の人との交流や、散歩や買い物時、事業所の玄関付近で地域の人と挨拶や会話をするなど、日常的に交流している。地域の文化祭には事業所のブースを設けてもらったり、地域ボランティアと一緒にジャガイモやサツマイモの植え付けや、交通安全週間にはお守りを作成し警察署に贈呈している。	
2 2階	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	交通安全週間に、入居者さんと一緒に交通安全のマスコットを手作りして、地域の警察署に届けた。		
3 1階		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	月一回法人で開催される地域交流会で地域の方々に役立つような介護教室・健康体操などを実施しています、		
3 2階		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	月1回、法人で開催される地域交流会で、地域の方々に役立つような介護教室、健康体操、ボランティア養成講座などを実施している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	自己評価も全職員の意見をまとめています。結果で見えてきた改善点も皆で話し合い見直しに取り組んでいます。	運営者、管理者、職員共に評価の意義を理解しており、職員全員で自己評価に取り組んでいる。取りまとめた結果や評価によって明らかになった改善策や課題は話し合い、家族や運営推進会議、職員に説明し、改善に取り組んでいる。	
4	(3)	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	自己評価は、全員の意見を取り入れている。評価によって見えた改善点も、見直しを行い、職員の意識を合わせて積極的に取り組んでいる。		
5	(4)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	近況報告、ケース発表、要望や意見交換などを行っています。地域防災についても話し合い、意見交換を行なっています。	地域代表や利用者家族、行政関係者、事業所関係者など10名程度で隔月に開催し、事業所の状況報告や事故報告、取り組みについて報告し、家族や地域からの情報を得たり、意見交換している。	
5	(4)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームからの近況報告、ケース発表、要望や意見交換などを行っている。評価によって見えた改善点への取り組みなども報告している。		
6	(5)	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町の担当者と常日頃から連絡をとり、相談、助言をいただき、サービスの質の向上に努めています。包括支援センターの職員さんが運営推進会議に参加され相談助言を頂いています。	市の担当者とは日頃から連絡を密に取り、協力関係を築きながらサービスの質の向上に取り組んでいる。地域包括支援センター職員には、運営推進会議に参加してもらい、事業所の様子を見てもらいながら、助言や指導を得ている。	
6	(5)	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターの職員が運営推進会議に参加され、相談・助言を頂きながら、サービスの質の向上に取り組んでいる。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7 1階	(6)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部研修への参加、院内研修の実施で職員全員が学習、共通理解するようにしています。いかなる時も身体的、精神的拘束のないケアに取り組んでいます。日中玄関、窓は施錠していません。	マニュアルがあり、研修で学び、職員は身体拘束について正しく理解している。言葉や薬による拘束も含め、抑制や拘束のないケアを実践している。日中玄関は施錠していない。	
7 2階	(6)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員参加の院内研修で、身体拘束の内容と、その弊害を再認識し、身体的・精神的拘束や抑制のないケアに取り組んでいる。日中、玄関の施錠はしていない。		
8 1階		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修への参加、院内研修の実施で職員全員が学習、共通理解するようにしています。		
8 2階		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修への参加や、院内研修で学び、共通理解をするようにしている。		
9 1階		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社会福祉事務所に相談できるよう支援しています。		
9 2階		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社会福祉事務所に相談できるように支援している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書、重要事項説明書を解りやすく説明しています。不安や疑問には十分理解していただけるようお話しています。		
10		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書・重要事項説明書を読み、分かりやすく説明している。不安や疑問を尋ね、十分な理解が得られるようにしている。		
11	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者さん、御家族が不満や苦情を職員に言えるような関係作りを心がけています。その内容については全職員が周知できるように申し送りをして日々のケアに反映させています。第三者苦情期間を設置しています。	苦情相談窓口、外部機関、第三者委員、苦情解決の仕組みを定め、家族に周知している。日頃から意見や苦情を言いやすい雰囲気づくりをし、面会時は利用者を担当する職員を中心に意見や希望を聞き、運営に反映させるように努めている。	
11	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者・ご家族の方が遠慮なく苦情や不満などを言って頂けるような関係作りを心がけている。また、その内容については、職員全員が周知出来る様に申し送り、ケアに反映させている。第三者苦情機関を設置している。		
12	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常会話、月例ミーティング、主任会議、理事長、統括管理者との面談等で意見交換や情報収集し、反映させています。自己評価表に意見を書いてもらい反映させています。	月1回のミーティングや面談で、職員の意見や提案を聞く機会がある他、日常業務の中で聞いている。出た意見を運営に反映させている。	
12	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のスタッフ全員参加のミーティング、主任会議、理事長、統括管理者との面談で意見を交換し、反映させている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	1階	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	自己評価、自己管理シートを活用して、一年間の目標を立て、各自目標に向かって努力しています。管理者と面談を行なっています。勤務希望を受け入れ、リフレッシュできるよう調整しています。勤務時間を調整し残業を少なくするための取り組みも行なっています。		
13		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回、自己評価表、人事考課表を用いて、努力している事やこれから頑張っていきたいこと、要望などを伝えられる機会がある。		
14	(9) 1階	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	院内研修は年間のテーマを決め毎月一回実施しています。外部研修にも積極的に参加できるよう働きかけて	内部研修を計画的に実施し、職員の資質向上に努めている。外部研修も積極的に参加の機会を提供し、資格取得の支援をしている。	
14	(9) 2階	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	院内研修は年間テーマを決め、毎月1回行っている。外部研修には積極的に参加できるように働きかけている。新職員の育成にはプリセプター方式を取り入れている。		
15	1階	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会主催の研修会等に参加し、他施設の職員と交流をもち、勉強会、講演会にも参加しています。新施設、他施設からの研修も受け入れています。		
15		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会主催の研修会に参加し、他施設の職員と交流を持ったり、勉強会、講演会などに参加している。		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
16	1階	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に訪問したり、体験入所をしてもらいご本人から心配事や困っていることを聞き想いを受け止め信頼関係を築けるよう努力しています。センター方式を活用しパーソンセンタードケアに努めています。		
16		2階	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に訪問したり、体験入所をして頂き、ご本人やご家族から、心配事や困っていることを聞き、想いを受け止め、信頼関係を築けるように努めている。	
17	1階	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	最初の相談から、利用後もよく話し合い心配事や不安、疑問などをよく聴き信頼関係を築けるように努めています。入所前から面談をし、コミュニケーションを取るようにしています。		
17		2階	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	最初の相談から、施設見学をして頂き、利用後もよく話し合い、信頼関係が築けるように努めている。入所前より頻繁に面接し、コミュニケーションを取るようにしている。	
18	1階	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人や御家族と面談し、入居後出来るだけ一緒に時間が過ごせるよう配慮し意向を十分引き出せるよう努め的確な支援に努めています。		
18		2階	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居後、ご本人やご家族のお話を聞いて、何に困っているのか、何が必要なのか、意向を十分引き出せるように努め、その人に合った対応を心がけている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の得意なことに目を向けスタッフも一緒に学びながら、協力して助け合い楽しく生活しています。		
19		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	何か作業する時には、教えて頂く姿勢で接し、必ず感謝の気持ちを伝えるようにしている。お互い助け合う関係を大切にし、一緒にゆっくり楽しく生活している。		
20		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時間等にケアについて御家族と相談、御意見、要望を積極的に取り入れたり、面会時には食事介助なども手伝っていただいています。		
20		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話時、行事等でコミュニケーションの機会を設けている。ケアプランの立案時や説明時などに、ご家族のご要望を聞き、相談しながら、本人さんを支えていける関係作りをしている。		
21	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来ていただいた時にご本人からお聞きしたエピソードなどをお話しし、又来たいと思っていただけるような対応を心がけています。	馴染みの美容院の利用や商店での買い物、家族の協力を得ての墓参りや外食、身内の行事への参加などの支援をしている。友人や知人の来訪もあり、馴染みの関係が途切れないように支援している。	
21	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来て頂いたときに、最近の本人さんの印象に残ったエピソードなどをお話させて頂くようにしている。ご家族の方などに「また来たい」と思ってもらえるような対応を心がけている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	1階	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席の位置に配慮したり、入居者さん同志の関係をスタッフが十分配慮しており、孤立して淋しい想いをされないように支援しています。		
22	2階	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係を把握しており、孤立して寂しい想いをしないよう、また、トラブルで嫌な思いをする方がいないように、座る位置を工夫したり、スタッフが間に入ってフォローしている。		
23	1階	○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	死亡時には通夜、葬儀に必ず参列させていただいています。		
23	2階	○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入居で退居になった方のご家族に出会った時にはその後のご本人の様子をお聞きしたり、また亡くなられた時には、通夜、葬儀には必ず参列させて頂くようにしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
24	(11) 1階	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を利用して一人ひとりの思いや希望を情報収集し尊重して、ご本人のペースで過ごしていただいています。	センター方式を活用し、利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望を把握している。介護記録は生活やその場面、本人の気持ちがわかるように本人の言葉で記録して、思いや意向の把握につなげている。困難な場合には本人本位に検討している。	
24	(11) 2階	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を利用し、情報収集に努め、1人1人の思いや希望を尊重し、思い思いに過ごして頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25	1階	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を取り入れ、ご本人や御家族からこれまでの生活歴や馴染みの暮らし方などを伺い把握するようにしています。		
25	2階	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族に、馴染みの暮らし方や生活歴を聞いたり、普段の会話の中から引き出せるように努めている。		
26	1階	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアプラン、ケア記録、伝達ノートを活用し、利用者さん一人ひとりの現状を把握するように努めています。		
26	2階	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケア記録や伝達事項を活用し、スタッフ同士で情報を共有し、無理のないように過ごして頂けるよう、1人1人の生活リズムの把握に努めている。		
27	1階	(12) ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、御家族の意見、気持ちを取り入れながら利用者さんの視点に立ってその人らしく暮らしていける様に各担当者が立案し各職種参加のもとケアプラン会議を開催し意見交換をしています。	利用者と家族の意見を参考に、全職員が参加するケア会議で意見交換を行い、介護計画を作成している。3ヶ月ごとにモニタリングを行い、6か月毎や状況の変化に応じて見直しをしている。	
27	2階	(12) ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族の意見や気持ちを取り入れながら、その人らしく暮らしていけるように介護計画を立案し、各職種参加のもと、ケアプラン会議を行い、意見交換を行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28	1階	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録に実践、状態、反応、言動、スタッフの感じたこと、思いを記入し申し送りスタッフ間の情報交換でその後の援助やケアプランに活かしています。		
28	2階	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録に日々の様子や状態・言動・気づき等を記入し、申し送りやスタッフ間の密な情報交換で、その後の援助やケアプランに活かしている。		
29	1階	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	24時間の医療連携による健康管理や医療の活用をしています。		
29	2階	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	24時間の医療機関による健康管理や医療の活用をしている。		
30	1階	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの方に草引き、畑に苗の植え付けをしていただいています。また移動図書館の利用、地元の美容院からきていただきカット、毛染めをしていただいています。		
30	2階	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元の美容院を利用したり、2週間に1回、市の移動図書館が回って図書の貸し出しをして下さるので、自分で選んで借りる事が出来る。また、隣のスーパーへも買い物に出掛けたりしている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	(13)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、御家族の希望する医療機関を利用しています。当施設の看護師と密に連絡、相談しています。受診時には手紙で近況報告しています。必要に応じてスタッフが付き添いをしています。	利用者や家族が希望するかかりつけ医となっている。通院時には主治医宛に利用者の状況報告を記した手紙を添えて受診援助し、主治医との関係を築きながら、適切な医療が受けられるように支援している。	
31	(13)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、ご家族の希望する医療機関を利用している。受診時には、医師への手紙をお渡しし、近況報告をしている。必要に応じてスタッフも付き添って受診している。		
32		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者さんの健康状態、薬の変更、急変に際し、随時当施設の看護師に報告、相談しています。医療連携体制をとっており協力病院、看護師との協力体制をとっています。		
32		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日、夜勤者が入居者さんの状況報告をしている。また細目に連絡を取り合って、入居者さんが適切な受診や看護を受けられるように支援している。医療連携体制をとっており、協力病院、看護師と協力体制にある。		
33		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはご本人のストレスや負担を軽減するために看護要約を細かく記入し、情報提供しています。入院中は看護師や管理者が病院関係者と連絡を取り合ったり、本人の状態を観にいらしています。		
33		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、ご本人のストレスや負担を軽くする為に、サマリーを細かく記入し、情報提供をしている。入院中は、当施設の看護師や管理者が本人の様子を見に行ったり、御家族からの相談も受けている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34	(14)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化指針について説明しており、重度化、終末期には医師、御家族、ご本人、スタッフとケアカンファレンスを開き方針を話し合い、共有しています。終末期には看取りの同意書を交わしています。	重度化指針や看取り指針があり、契約時に家族や本人に説明している。実際に重度化した場合は、本人や家族、主治医、職員等と話し合い、方針を共有して支援している。研修により職員の受け入れ態勢もできており、チームで支援に取り組んでいる。	
34	(14)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化指針について説明しており、重度化・終末期は、医師、家族、本人、スタッフ等とケアカンファレンスを開き、方針を話し合い、本人にとって、より良い方法を考え、共有している。		
35	(15)	○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	事故があった時は、ひやりはっと事故報告書を作成し、スタッフ全員で共有し事故防止に努めています。院内研修や避難訓練を実施し急変や事故発生時に備え、事故防止マニュアルを作成しています。	事故報告書やヒヤリハット報告書を分析し、利用者一人ひとりに応じた対応を行い再発防止に努めている。事業所独自のマニュアルを作成し、転倒、異食、麻痺発作、意識障害等、個々の事例について職員でグループワークを行い、考えながら実践的な対応ができるよう研修している。応急手当や初期対応について看護師が講師となり、訓練を実施している。	
35	(15)	○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	事故等があった場合はひやり・はっとや事故報告書を作成し、皆で共有し、独自の事故防止マニュアルを閲覧し、事故防止に努めている。また院内研修や、避難訓練を実施し、急変や事故発生時に備え、日頃から話し合っている。		
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防訓練、避難訓練を行なっています。緊急連絡網の作成、運営推進会議で自治会長や近隣住民と災害訓練について話し合い、院内研修で職員全員に周知しています。風水害、地震マニュアルを作成しています。	年2回 昼夜を想定し利用者も参加し災害時避難訓練を実施している。運営推進会議で災害時の地域住民の協力体制について話し合、緊急通報システムは地域住民に通報することができるなど地域との協力体制を築いている。	
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防訓練、避難訓練を行っている。また、運営推進会議でも、地域防災について話し合いをしている。		

自己 外部	項 目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
37	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者さんに応じて対応しています。トイレの声かけなどは小声でさりげなくプライバシーに配慮しています。トイレ介助、入浴時はご本人の羞恥心に十分配慮しています。	マニュアル作成があり、内部研修を実施し、職員は、利用者一人ひとりを尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。研修や運営推進会議で行われる利用者の事例発表は、事前に家族や本人の了解を得るとともに事後は回収するなど、プライバシーの保護に気をつけている。	
37	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレなどの誘導時は、小声でさりげなく声掛けをし、プライバシーに配慮している。入浴時は本人の羞恥心に十分配慮して行っている。		
38		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者さんの思いや希望に出来るだけ応えられるようにしています。ご本人が答えやすいような言葉掛けを心がけています。		
38		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者さんが分かり易く、また、本人の意見が引き出せるような、答えやすい言葉がけをするように心掛けている。		
39		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時間やスタッフの都合ではなく、出来るだけ利用者さんのやりたいことを体調に気を配りながら柔軟に対応しています。		
39		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1人1人、ご自分のペースで生活されている。本人の体調に合わせ、無理強いすることなく、柔軟に対応している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	1階	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容利用の際はご本人の好みや希望を聞いて毛染め、パーマなど個性を大切にしてもらっています。着替えの際はご本人と相談し一緒に服を選んでいただいています。		
40	2階	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の服は自分で選んで着て頂けるように、声掛けや支援をしている。訪問美容院利用の時は、本人の希望する髪形にカットしてもらっている。また、希望に応じて染めやパーマもかけて頂いている。		
41	(18) 1階	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立を一緒に考えていただいたり、野菜の下ごしらえを手伝ってもらっています。おにぎりを作っていただいたり、後片付けをスタッフと一緒にこなしています。	利用者の要望を聞いたり、地域でもらった食材を使える献立をつくり、三食とも事業所で食事づくりをしている。利用者は献立を考えたり、食材の買い物、調理、盛り付け、配膳、後片付けなど、職員と一緒にしている。職員も同じものを食べながら、利用者の食事が楽しめるように支援している。年1回管理栄養士による指導を受けている。	
41	(18) 2階	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の下ごしらえや、配膳、後片付け等、出来る方、好きな方にお手伝いして頂きながら一緒に行っている。また、献立にリクエストがあれば取り入れている。誕生日メニューやおやつなども、好みを取り入れ、楽しんで食べられる工夫をしている。		
42	1階	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考えスタッフが献立を立てています。管理栄養士さんにチェックしてもらっています。食事量を毎食記録し利用者さんの摂取状況など情報を共有しています。		
42	2階	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者さんの状況を把握し、糖尿病のある方、ムセのある方には、食事量の調整やトロミを活用するなど、1人1人にあった支援を工夫している。水分摂取の少ない方には嗜好に合った物で摂取を促している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	1階	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声かけをし、口腔内の清潔に努めています。週1回義歯、歯ブラシの消毒をしています。		
43	2階	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声掛け、介助し、口腔内の清潔に努めている。週1回、義歯消毒をしている。		
44	(19) 1階	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンや習慣を把握しながらトイレの声かけや介助を行い出来るだけトイレでの排泄を促し、快適でより良いケアを行なえるように努めています。また時間帯や状況に応じてパットを使い分けています。	排泄表で排泄パターンを把握し、さりげない声かけや誘導を行い、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	
44	(19) 2階	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンや習慣を把握しながら、それぞれトイレの声掛けや介助を行い、出来るだけトイレで排泄を促し、その方にとって快適でより良いケア方法を行えるように努めている。また時間帯や状況により、パットの種類を使い分けている。		
45	1階	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の有無をチェックし便秘気味の利用者さんには「食物せんい」を飲んでいただいたり、水分補給も行なっています。		
45	2階	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事、水分摂取が難しい場合については、本人の嗜好に合わせた物を提供したり、摂取しやすい形態にして提供するなどし、出来るだけ薬に頼らないように心掛けている。食物繊維も利用している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日入浴できるように準備しています。体調に配慮し、不穏状態などで拒否がある場合は時間をおいて再度お誘いしています。入浴時の個別対応の時間を大切にしています。	毎日 11時から17時まで入浴が可能で、入浴剤などを入れ、職員と会話を楽しみながらゆっくり入浴できるよう支援している。	
46	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者さんの体調に合わせて、入浴されている。無理強いせず、希望やタイミングに合わせて入浴できるように支援している。状況により、足浴、手浴、全身清拭なども行っている。入浴時はお話をしたり、個別対応の時間を大切にしている。		
47		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中でも眠そうな方には居室で休んでいただいたり、夜間の入床はその方の習慣や体調に配慮しています。不安の訴えには夜勤者が常にいることを伝え安心していただいています。		
47		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転が起こらない程度に、休みたい時は休んで頂いている。また、夜間不眠が見られる方には、日中の活動を増やすなど、夜間良眠出来るように支援している。		
48		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が服薬している薬の効能、副作用などの内容がすぐにわかるようにファイルしてあります。薬の変更時も職員全員に申し送りを行っています。		
48		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容や副作用については、カルテにファイルし、把握している。服薬の支援と状況の変化の確認に努め、状況が変化した時は、医師や看護師に速やかに連絡し、指示を仰いでいる。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(21)	○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理、洗濯物たたみ、食器の片付け、掃除、レク、散歩、花や野菜作りなど一人ひとりにあった場面作りをして日々の暮らしの中で楽しみが出来るように工夫しています。	ぬり絵、生け花、花や野菜づくり、交通安全週間に配布するマスコットづくり、納涼祭参加者へのお土産づくり、調理、後片づけ、洗濯物畳など、楽しみ事や活躍できる場面をつくり、張り合いのある日々を過ごせるように支援している。	
49	(21)	○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理、洗濯、食器の片付け、掃除、レク、読書、散歩、絵を描く、花の世話をするなど、1人1人に合った場面作りをし、日々の暮らしの中で楽しみが出来るように工夫している。また、完成した絵やお花を飾り、皆に見て頂くことで、張り合いを持って頂いている。		
50	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	玄関前やウッドデッキで日光浴をしたり散歩に出たり、希望に沿って出かけたりしています。帰宅願望などがあれば付き添って外出し、気分転換をはかっています。	利用者の希望に添って、散歩や買い物に出かけたり、家族の協力を得て花見や紅葉狩りなどのドライブに出かけている。	
50	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	玄関前で日光浴したり、散歩に出たりしている。また、スーパーへの買い物、自宅への外出や、例えば奥さんに会いに行くなど、出来るだけご希望に応えられるよう努めている。年2回、ご家族をお誘いしての外出も行っている。		
51		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員がお預かり金を管理しており外出する時はそこからご本人がお金を支払い買い物をする方もおられます。		
51		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	スタッフがお預かり金を管理しており、外出する時はそこから本人がお金を支払い、買い物をされる方もおられる。本人、ご家族の希望に応じて、お金を自分で持たれている方もいる。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望に応じて、御家族や大切な人に電話でお話し出来るよう支援しています。御家族から手紙やはがきが届きます。		
52		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じて、家族や大切な方に電話でお話し出来るように支援している。公衆電話の設置もあり。		
53	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングに畳のコーナーを設置したり、ソファを置いたりして好きな場所でくつろげるように配慮しています。周囲の田園風景が見渡せ明るく開放的です。台所のカウンターには季節の花を向け対面キッチンで調理の様子も見れ、職員との会話もできます。	リビングは明るく広く、利用者の作品や季節の花を飾り、窓から周囲の風景を眺めることができる。畳のコーナーやテレビ、ソファを配置し、一人ひとりの居場所づくりをしている。リビングに沿った広いウッドデッキは、物干し場としてやプランターに季節の花を植えて楽しむようにしている。台所は対面式で、利用者が一緒に食事づくりをしたり、調理のにおいや音を感じることができる。	
53	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングに畳コーナーを設置したり、ソファを置いて、思い思いの場所で寛げるようにしている。ベランダには花や野菜を植えたり、周辺の田園風景も見渡せ、明るく開放的。キッチンは対面で、調理の様子を見たり、一緒に作業が出来る。季節の飾りつけもしている。		
54		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルを分けたり、ソファや畳のコーナー北側のベンチスペースなど思い思いの場所でゆったりと過ごしていただけるようにしています。入居者さん同士の関係にも気を配り食事の席にも配慮しています。		
54		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングだけではなく、それぞれの居室やソファ、北側スペースなど、思い思いの場所で過ごせるようにしている。また入居者同士の関係にも気を配り、食事の席なども考えている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の馴染みの物や好みの物をもってこられています。居室には御家族の写真を飾ったり使い慣れた日用品を使用していたり居心地の良い空間作りを心がけています。	使い慣れた椅子や机、タンス、カーテン、家族の写真、好みの小物などを持ち込み、居心地良く過ごせるように工夫している。	
55	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の馴染みの物や、好みの物を持ち込まれている方が殆ど。居室に家族との写真を飾ったり、使い慣れた日用品を使用し、利用者の居心地の良い空間作りを心掛けている。		
56		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー、クッションフロア、手すりの設置など居室に表札を付けたり「トイレ」の張り紙をしています。個人のタンスにもわかりやすく表示し、自分で衣類を選べるように支援しています。職員と一緒に整理しています。		
56		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー、クッションフロア、手すりの設置等。「トイレ」表示などをしたり、居室が分からなくなる方には大きく名前を表示したり、出来るだけ自立した生活が送れるように工夫している。		

2. 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム だんけぐーと

作成日： 平成 25年 1月 7日

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	50	施設周辺への外出はできているものの個人の希望にそった外出の機会が少ない。	個人の希望に沿った外出を楽しむことができる。	○地域の行事の参加 ○個別外出(なじみの場所、外食、ピクニックなど)	7ヶ月
2	13 14	新人職員が多くケアにむらがある。 職員が自分の意見を伝えられない。	一日でも長くやりがいをもって、楽しく仕事ができる	○意見の言いやすい環境作り ○院内・院外研修で個々の能力の向上 ○スタッフの持っている良いところを引き出し、伸ばしていけるよう、活躍の場を意識して作る。	12か月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。